

おばたけ 源



討議資料

県政報告 令和7年度 12月議会号

今年度は、農林水産委員会に所属し、奮闘中です。
残された少ない任期を皆様の負託に精一杯お応えすべく頑張
張って参りますので、叱咤激励をお願い申し上げます。

お問合せ先：090-8690-8518（おばたけ携帯）



政務活動事務所：愛媛県今治市共栄町2-3-21 連絡先：【TEL】0898-34-7155【FAX】0898-33-2244【メール】ehime@obatake-gen.com

12月議会 一般質問に登壇しました！

note アプリにて質疑&答弁を全文記載しております



note

質問のテーマは「地元で稼ぐ！」

造船の競争力強化について

日本の海事産業の中心

地である今治市と共に県は造船業の国際競争力強化にどのように取り組むのか。

中国・韓国との競争激化、脱炭素化・新燃料対応など、造船業は「100年に一度の燃料転換期」にあると認識。県の主な取り組みとして、設備投資支援：地域未来投資促進法等を活用し、造船所の設備投資に税制優遇。人材育成：県立今治工業高校機械造船科での専門人材の育成。DX推進：官民共創拠点（トライアングル関連）において、AIを活用した造船設計の効率化を実証し、県内企業への横展開を図る。・スタートアップ支援：スタートアップエコシステム拠点として、造船・海運などブルーエコノミー分野で、世界で稼げるスタートアップの創出を支援。国が検討している「造船業再生ロードマップ」約500億円規模の基金などの動向を注視しつつ、関係市町と連携して、県内造船業の国際競争力強化を図る。（経済労働部長）

スーパーヨット誘致と地域経済活性化

スーパーヨット

誘致にどのように取り組みその消費を地域経済活性化につなげていくのか。

瀬戸内海の穏やかな海、島々の景観はスーパーヨットにとって非常に魅力的であり、県としても数年前から先行して取り組みを開始。具体的な取組として、松山港・弓削港・宮浦港において、浮桟橋の改修、電源・給水設備、多言語対応のHP整備などを実施。オーストラリア・タイのボートショーに初出展し、瀬戸内DMOと連携しつつ、本県の魅力をPR。市場動向に詳しい専門家を招聘し、スーパーヨットオーナーに好まれる食・文化・自然体験等の観光コンテンツを磨き上げ。地元事業者向け勉強会、PR動画制作、ホームページの充実等を通じ、「受け入れる側」の体制と情報発信を強化。今後も市町や事業者と連携し、海外での誘致活動の加速。受け入れ態勢の充実。消費機会の創出に取り組み、地域経済の活性化につなげていく。（中村知事）

県産柑橘の生産及び販売戦略

今年度の柑橘生産状況

をどう見ているかまた販売促進に今後どのように取り組むのか。

太田市場でのトップセールスにおいて、和製温州の初出荷が過去最高のキロ413円となるなど、品質とブランドへの信頼を再確認。昨年に比べ、カメムシ被害は少ない。防除、かん水、日焼け防止などの管理徹底により、温州みかんは10万トン台に回復見込み。その後に出荷される10月以降品種も順調に育成。防除対策の継続、樹園地の若返り、マルチ栽培の普及、省力化につながるスマート農業の導入促進。「紅コレクション」をはじめとした県オリジナル高級品種の一体的なプロモーション。月ごとに旬の柑橘をテーマにしたオリジナルソングを活用し、それぞれの品種の魅力を発信。これらにより、生産基盤の強化、県産ブランド力の向上、生産者所得の増加を同時に図り、「柑橘王国えひめ」の地位をさらに強固にする。（中村知事）

医療人材の確保と定着

将来にわたり

地域医療を守るため、医療人材の確保・定着を今後どのように進めていくのか。



生産年齢人口の減少や物価高騰により、医療現場を取り巻く環境は一層厳しいと認識。愛媛大学・県・医師会が連携し、ドクターバンク事業を実施。地域医療支援センターと協働し、専門的知識・技術の習得を支援しながら、地域医療を担う医師の継続的確保に取り組んでいる。看護学校の学生確保への支援。県内医療機関の情報発信の強化、県外学生への支援などを実施。医療DXの導入支援により、業務負担の軽減と医療の質向上を同時に図る。医療勤務環境改善支援センターや県看護協会と連携し、処遇改善を含めたアドバイス。院内保育所への運営補助など、子育てと両立しやすい職場環境づくり。引き続き関係機関と連携し、医療人材の確保・定着。県民の命を守る地域医療提供体制の充実に努める。（保健福祉部長）